



新しい価値観に根差した持続可能な社会の実現

令和5年度における活動実績・成果の概要

■ JST共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) 「美食地政学に基づくグリーンジョブマーケットの醸成共創拠点」における活動
本プログラムは令和5年度より本格型とし昇格し、地域とともに持続可能社会の構築を目指し、様々な活動を実施している。

①シンポジウム・勉強会の実施

- 令和5年度は地域で講座やサロンを実施した。三重県志摩市では海の環境をテーマにシンポジウム「海賊サミット」を開催し、3名の基調講演と分科会を実施し、県内外から企業や自治体、市民の方、高校生や大学生など多世代にわたる多くの方が参加し、5つのテーマに合わせて議論した。
- また参画高校は、授業の中でテーマに沿って、低利用魚を使った商品開発を行い、地元企業の協力のもと、シンポジウム会場で販売会を行った。



②万華鏡作りをとおして、自然と環境について学ぶワークショップ

- NEMU RESORT主催の「リトリート×SDGs」および、東松島市主催の「SDGs産学官連携環境イベント 環境のことを知ろう！学ぼう！」にて、種や花を使った万華鏡づくりのワークショップを実施。多くの子供たちに、楽しみながら、自然と環境について、学びの場を提供した。



③串木野キッズファーマーズマーケット

- 五嶋農園（鹿児島県いちき串木野市）において、地域の事業者の協力のもと、植ええと収穫体験会を実施し、野菜ができるまでの話や、有機栽培と環境に関することなど、体験を通じた学びの場を提供した。

④カッティングボードづくりからはじめる食育ワークショップ

- 穎娃町の「磯のや、」にて、木材でまな板づくりを行い、作ったまな板で料理を作る食育ワークショップを実施。捨てるところが少ない野菜の切り方など、食ロスなどの環境問題も交えて学びの場を提供した。



これらのワークショップをベースにアクションリサーチを実施し、行動変容への有効性などを検証し、共創教育プラットフォームの構築に取り組んでいる。

【関連ホームページ】 <https://gastro-geopoli.com/gastro/>

新しい価値観に根差した持続可能な社会の実現

令和5年度における活動実績・成果の概要

■プラスチックスマート戦略のための超域学際研究拠点における啓発活動
(TU-TRIPS : Tohoku University Transdisciplinary Research Initiative for Plastic Smart)

⑤シンポジウム・勉強会の実施

- 「美食地政学に基づくグリーンジョブマーケットの醸成共創拠点」との連動で、プラスチックスマートシンポジウムを開催。80名の方が参加した。
- 吉岡敏明教授、松八重一代教授、福島康裕教授、齋藤優子准教授の4名が基調講演を行い、三重県環境生活部環境共生局資源循環推進課の中島課長と四日市市商工農水部工業振興課の釜瀬課長より取り組み事例を紹介いただいた。
- 後半では講演者に加え、橋爪志摩市長と株式会社REMAREの間瀬代表に参加いただき、トークセッションで課題や今後について議論が行われた。

【関連ホームページ】 <https://gastro-geopoli.com/gastro/archives/5401>



⑥マイクロプラスチックで万華鏡作りワークショップ

- 6月にBS名取第一団の小学生らと、マイクロプラで万華鏡づくりを実施。海洋プラスチックごみ問題や資源循環について学び、浜砂からマイクロプラスチックをよりわけて、それぞれオリジナルの万華鏡を製作した。
- 8月には仙台市たまきさんサロンで同様の講座を実施。夏休みの自由研究として、海洋プラスチックごみ問題について学びの場を提供した。

【関連ホームページ】

<https://www.tamaki3.jp/salon/course/?d=y81PSbVNySwuUEsrzUu2Tc0rKapUA5Pxefm2JqamJmoFiemptgA=>



⑦『資源循環の杜へ せんだいリポート キックオフイベント』

- 8月5日に、せんだいメディアテークで開催された「せんだいリポート」のパネルディスカッションに、松八重教授がモデレーターとして登壇した。
- ディスカッションでは、プラスチック資源循環や容器包装のデザインの今と未来を学ぶことをテーマに、プラスチックリサイクルに取り組む企業やアーティストの方々により、様々な視点から資源の循環利用について議論が行われた。

【関連ホームページ】 <https://www.gomi100.com/articles/plastic/7059>

